

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ばれっと城間 (児発)				公表日	2026年5月29日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動に十分な広さのスペースが確保されており、利用定員に対して余裕のある環境だと感じているため、適切であると思います。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	利用定員や子どもの特性に配慮した職員配置がなされており、安全面にも十分配慮された体制が整っていると感じています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	活動場所が分かりやすく区分されており、視覚的な支援やバリアフリー等の配慮もされているため、安心して過ごせる環境が整っていると感じます。	受け入れ児童の成長や発達状況を踏まえながら、子どもたちにとって分かりやすい環境づくりを定期的に進めてまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	清潔で心地よく過ごせる環境が整えられており、活動内容に応じてスペースを分けるなどの工夫がされていると感じます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じて、子どもが落ち着いて過ごせる個別の部屋や場所を使用できる環境が整っていると感じています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	個別課題の達成状況を振り返り、目標をクリアした際には次の段階へレベルアップするなど、PDCAサイクルを活かした支援・改善が行われていると感じています。	PDCAサイクルについては、全職員でモニタリングや策定会議の場を設けていますが、シフトの都合上、当日参加できない職員がいる場合もあります。その際は確実に情報共有を行うよう努めます。また、会議で意見を出しやすい場づくりにも取り組んでまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	保護者向け評価表や家族面談を通して保護者の意向を把握し、その内容を業務改善に活かしていると感じています。	ご回答いただいた保護者向け評価表の内容を職員間で共有し、改善が必要な事項については職員からも意見を集めながら、業務改善につなげてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	ミーティングの際、うまくいかなかった点についても話し合いながら新たなアイデアを考え、業務改善に活かしていると感じています。	職員の意見把握について、一部職員から十分ではないとの回答があるため、引き続き意見を把握する機会を設けます。あわせて、職員が意見を出しやすい場づくりにも取り組んでまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	現在、第三者による外部評価は実施していませんが、法人内で支援内容や運営について話し合う機会を設け、改善点を共有しながら質の向上に努めています。	現時点では第三者による外部評価を実施していないため、今後は外部の視点を取り入れる方法や実施時期について検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	職員の資質向上を図るために、外部研修の受講や法人内研修の機会が確保されており、月1回の研修・勉強会も実施されていると感じています。	職員の資質向上を図るため、社内研修の開催や社外研修の受講を促しています。今後は、職員の受講状況や研修内容を把握し、支援場面で活かしやすい研修となるよう見直してまいります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムが適切に作成・公表されており、子どもの特性に合わせて視覚支援(絵カード・スケジュール)を取り入れる工夫がされていると感じています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	児童発達支援管理責任者だけでなく、支援に関わる職員へアセスメント内容を共有し、共通理解のもとで個別課題を検討しています。手先の操作が苦手な子どもには指先のトレーニングを行うなど、個々の特性に応じた支援を取り入れています。	一部で取組が不十分との回答があるため、引き続き職員間で支援方針を共有し、共通理解を図ってまいります。また、職員によって支援に差が出ないよう、具体的な支援内容や留意点を確認してまいります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	児童発達支援計画は職員間で共有され、計画に基づいた支援が行われています。子どもの状況や変化に応じて支援方法を見直し、柔軟に対応しています。	児童発達支援計画の内容を職員間で共有し、計画に沿った支援が行えるよう確認を継続します。また、子どもの状況や変化に応じて、必要な支援方法を見直してまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	日々の行動観察や管理者の助言を受けながら子どもの状況を確認しています。気持ちや不安定なときや普段と様子が異なる場合には記録を取り、状態の把握に努めています。	フォーマルなアセスメントや日々の行動観察の内容について、職員間で理解に差があるため、アセスメントの視点や共有方法を整理します。記録や確認の流れを整え、職員が共通の視点で子どもの状況を把握し、計画作成につなげられるよう取り組んでまいります。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	児童発達支援計画では、子どもが自分で取り組むことを大切に、準備・片付けを自分で行うこと、悔しさや怒りの気持ちを切り替えられるよう支援するなど、必要な項目や支援内容が具体的に設定されています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	活動プログラムはチームで立案しており、ミーティングの際に職員間で共有・説明を行い、不足や改善点はアドバイスを受けながら見直すなど、協力して計画を作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2	子どもの反応や興味を見ながら活動内容を工夫し、必要に応じて職員の助言を受けながら調整しています。	活動については、習慣やルールの定着を図るため、数日間同じプログラムを実施することもあります。子どもの成長や発達段階に応じて活動内容が偏らないよう工夫するとともに、職員間で療育上の意図を共有し、理解を深めてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	子どもの様子に合わせて、個別活動と集団活動をうまく組み合わせ支援しています。集団活動で難しい場面があった場合は、職員の助言を参考にして柔軟に調整しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援開始前には職員間で打合せを行い、その日の活動内容や役割分担を確認しています。職員が協力して連携しながら支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2		定期的なモニタリングは実施していますが、一部で取組が不十分との回答があるため、モニタリングで確認する内容や計画見直しの視点を職員間で共有します。今後も、子どもの状況や支援の効果も踏まえて、計画の見直しを行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	—	—		
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っている	—	—		
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—		
	31	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—		
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	3		地域の児童発達支援センターとの連携については、必要に応じて相談・助言を受ける機会を確保できるよう調整してまいります。
	32	地域の子どもの発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		現在、こども園等と併用して当事業所を利用しているお子さまもいます。屋外活動では地域の公園や児童館等を活用しており、その中で地域の子どもたちと一緒に活動する場面もあります。今後も、子どもの状況に合わせて、無理のない形で交流の機会を検討してまいります。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		療育内容の共有や保護者同士の交流促進を図るため、昨年度に保護者懇親会を開催しました。参加できなかった保護者もいたため、今後は開催回数や実施方法を検討し、引き続き家族支援に関する機会を提供してまいります。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	2		運営規程・支援プログラム・利用者負担等についての説明は、契約時に必ず実施しています。今後は、説明内容について職員間でも共有し、保護者へ分かりやすく案内できるように努めてまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		こどもや家族の意向を踏まえて計画を作成しています。今後は、意向確認の内容や計画への反映状況について職員間で共有し、共通理解を図ってまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		療育内容の共有や保護者同士の交流促進を図るため、昨年夏に保護者懇親会を開催するとともに、年度末にはきょうだい児も参加できる「プラネタリウム鑑賞会」を開催しました。今後も、保護者やきょうだい児が参加できるイベントを開催してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		保護者へのお知らせは連絡ツールで行うとともに、日々の活動についてはSNS等で発信しています。今後は、発信内容や周知方法について職員間で共有し、保護者に分かりやすく情報提供してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		昨年度は年度途中の人事異動等もあり、地域に開かれた取組を十分に実施できない状況が続いていました。一昨年度には地域を巻き込んだイベントを開催していたことから、今年度はその取組を再度進めます。また、当事業所は自治会にも加入しているため、自治会活動への参加などを通して、地域との関わりをより深める活動に取り組んでまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		安全計画に基づき、防災・防犯・火災等を想定した各種訓練を実施しており、訓練の様子はSNS等でも紹介しています。今後は、安全計画や各種マニュアルを職員間で定期的に確認し、理解促進に努めてまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		BCPの策定および計画に基づく必要な訓練は実施しています。今後は、訓練時にBCPの内容や役割分担を職員間で確認し、理解促進に努めてまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		医師の指示書に基づくアレルギー対応が必要な児童は、現在在籍していません。対応が必要な児童が利用開始した際には、職員間で情報共有を行い、おやつ提供時の対応や緊急時の対応について研修等を実施してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		契約時に、安全計画に基づく取組内容について説明しています。保護者懇親会では、避難場所の確認や車両に備えている避難グッズの紹介を行い、災害時の対応について理解を深めていただきました。今後も継続して、保護者への周知と情報共有に取り組んでまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		虐待防止研修は毎年実施しています。欠席等により受講できなかった職員への対応方法を検討するとともに、虐待防止に関する職員の理解を深め、適切な支援につなげてまいります。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0			